



世界にはばたく パナマっ子



Vol.3 2013/8/25 パナマ日本人学校 高嶋幸太(中札内中在籍)

夏季休業中におけるPDCA

～PLAN (計画)～

「1学期は仕事に慣れる」そんな考えは一切捨て、「1学期から仕事を追う」ことに専念してきた。私の手帳には毎日本校の課題が綴られ、5年計画でのシミュレーションを行った。

子どもの学びを第一義に考えると、過去十数年の大量の廃棄物処理が最優先事項となった。清掃された形跡がない職員室、洗濯されたことがないカーテン、埃まみれの本、使用されずに15年以上が経過した一般消耗品…など挙げればきりが無いほどの量であった。

そこで、時間のある長休みを利用し、本校に残された私と学校長が中心となり、家族や児童生徒に協力を仰ぎながら、32日間のすべてを校内の環境整備に費やすこととなった。



校門前のマンゴーの木と愛車ベルサ

～DO (実行)～

朝8時に出勤し、16時の退勤まで、私の休憩時間は昼食の30分。その間、全校児童生徒18名の学習相談(5時間×3日間)を行い、財団へ発注した各種教材の事務処理や保護者及び日本人会のメール対応をすべて一人で行ってきた。

管理場所である図工室は、3週間かけ学習環境を整えることができた。職員室には、日本から持参したが使われなかった事務用品が山積していた。毎日汗だくになりながら、普通教室1つを物置として作業を進めた。結果、4トン近くの廃棄物が出ることになった。

～CHECK (確認)～

校内整備を行った後に重要となるのは、その状況を維持できるかということである。私は、安全点検表や清掃の仕方マニュアルを作成し、早速職員会議で提案した。全教職員から同意が得られ、全職員で一斉に校内を点検する日を決め、環境美化に努めているところである。

～ACT (改善)～

今後は保護者及び日本人会へボランティアの募集をかけ、さらに学習環境を整えたいと考えている。私一人の働きかけで、ここまで学校が変わるのだから、子ども・保護者・日本人会・教職員がチームとなって、「すべては子どもの学びを第一義に」を合い言葉に、来年度40周年を迎える本校を今まで以上に、「通って良かった!」と思える学校にしていくことが私自身の課題である。



日本食も売ってます。納豆500円!